

測定器具の使用方法と精度管理

物を測る・・・非常に基本的な作業ですが、ものづくりを行ううえで、決しておろそかにはできない工程でもあります。都産技研では、測定の基本を理解していただくために、短期専門研修を開催し、皆様にご好評を博していますが、昨年度の研修の様子も交え、紹介させていただきます。

長さの測定

近年、測定機器の高精度化・高機能化が進んでいますが、正確な測定をするには、使用する測定器具の構造・特性・使用方法や、測定時の温度（環境条件）そして測定力などの測定条件等が、測定結果にどのように影響するのかを正しく理解している必要があります。また、測定結果の信頼性を確保するためには、測定器具の精度管理がとても重要です。

この研修では、正しい測定を行うための測定技術と測定器具の管理方法について、講義だけでなく、実習も交え理解を深めて頂けます。なお、研修は少人数（10名程度）で行い、実習の際は4グループ（各グループ2～3名）で行いますので、きめ細かな対応が可能であり、納得のいくまで実際に測定機具に触れて操作していただくことができます。

この研修は、ご好評につき今年度も1月中旬頃に実施する予定です。測定、検査をはじめ、設計、加工、品質保証など幅広い分野の方々の積極的なご参加をお待ちしております。

研修概要（予定）

時間	科目
2時間程度	精密測定の基礎（講義） 精密測定の基礎と、測定器具の精度管理についての概要を解説します。
4時間程度	測定器具の使用方法と精度管理（実習） ブロックゲージ、ノギス、マイクロメータ、ダイヤルゲージの使用方法と精度管理に関する実習を行います。

事業化支援部 製品化支援室 <西が丘本部>

中村弘史 TEL 03-3909-2151 内線434

E-mail : nakamura.hiroshi_1@iri-tokyo.jp



講義風景



実習風景
(ノギスの取り扱い)



実習風景
(ブロックゲージの取り扱い)